

静岡県原子力発電所環境安全協議会 会議録

<令和3年度第2回幹事会>

1 開催日・場所等

日 時	令和3年10月15日（金）10：30～11：30
方 法	Web会議
出席者	幹事 17名 中部電力 2名 事務局 4名 計24名
議 事	○議事事項 (1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第190号 (2) 静岡原子力だより190号（案） ○報告 (1) 浜岡原子力発電所の現況等
配布資料	○議事資料 資料1 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第190号 資料2 静岡原子力だより190号（案） ○関連資料 関連資料1 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査解説資料 関連資料2 静岡原子力だより189号 ○報告資料 報告資料 浜岡原子力発電所の現況等

2 議事事項

(1) 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第190号

事務局から、令和3年度第2回環境放射能測定技術会（9月8日開催）で検討・承認された「浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果第190号」について、資料1及び関連資料1により説明し、確認された。

《質疑応答：なし》

(2) 静岡原子力だより190号（案）

事務局から「静岡原子力だより190号（案）」を資料2により説明し、承認された。

《質疑応答：》

質 問：最終ページ「ここが知りたい原子力のクエスチョン」について。回答に放射性セシウムと放射性ストロンチウムの半減期が他の物質より長く環境中に残りやすいためとなっているが、ジルコニウムの半減期が64年とセシウムやストロンチウムより長い、ジルコニウムはもともと放出されていないという理解でよいか。

回 答：ジルコニウム95については今回の測定結果では検出されたものはなかった。またジルコニウム95は福島事故で環境中に優位なほど放出されていないため、周辺環境でも検出されていないと考えている。

質 問：細かいことになるが、Qとして「なぜ～検出されているの？」と表現されていて、その下に回答がある。Qに対してAという表現をしたほうが親切ではないか。対応を検討してほしい。

回 答：そのような修正を加えたい。

また先ほどの質問いただいたジルコニウムについて、事務局から訂正を追加する。半減期は64年ではなく、64日の誤記であった。検出されなかった理由は、優位に放出されていなかっただけでなく、放出されたジルコニウムも半減期が短いため、環境中に残っていないということとなる。

## 4 報告

### (1) 浜岡原子力発電所の現況等

中部電力株式会社から、浜岡原子力発電所の現況等について、報告資料により報告された。

《質疑応答：》

質 問：14Pの発電所の入構について、核物質防護としてかなり重厚な入口整備となったが、一般の人が原子力館に行くのには車でどう入っていくか教えて欲しい。

回 答：道路から入っていくと、T字路の交差点がある。ここで右折をすると原子力館の駐車場に行くことができる。徒歩も同じである。

質 問：排気筒の切断工事のことで1つ確認させていただく。生活環境課では大気汚染防止法でアスベストの関係の届け出を行っている。今回の排気筒の切断工事でアスベストの事前調査を行ったかどうか、またその結果があるなら教えてほしい。

回 答：排気筒の内面に塗布しているモルタルにアスベストが含まれているため、必要な届出を行い、現場の工事も必要な対策を行った上で行った。

質 問：事前に除去がされた上での解体工事ということによろしいか。

回 答：そのとおり。